

**第2回次期総合振興計画（区の将来像）に係る北区検討懇話会
議事要旨**

開催日時：2019年1月21日（月）9：30～11：20

開催会場：さいたま市北区役所 B 会議室

出席者（懇話会委員）：

北区スポーツ振興会 会長	畔川 清和 氏
大宮警察署少年非行防止ボランティア連絡会 委員	薄田 智子 氏
青少年育成さいたま市民会議北区連絡会 常任理事	蛭名 るみ子 氏
さいたま商工会議所商工振興委員会北区商工振興委員会 委員	兼杉 文子 氏
宮原地区自治会連合会 副会長	川鍋 栄 氏（座長）
大宮盆栽協同組合 副理事	黒須 輝夫 氏
さいたま市交通安全保護者の会（母の会）北支部 支部長	小松 佳津江 氏
花いっぱい運動推進会 会員	佐藤 清美 氏
大砂土地区自治会連合会 会計監査	島田 清忠 氏
大砂土地区社会福祉協議会 会長	嶋村 豊 氏（職務代理）
日進地区自治会連合会 副会長	清水 登 氏
スポーツ推進委員連絡協議会北区支部 支部長	牧野 奈津子 氏
植竹地区自治会連合会 副会長	松永 敏雄 氏

（事務局：さいたま市）：

北区役所：新井区長／大塚副区長／関根区民生活部長／石井総務課長

都市経営戦略部：篠葉参与

欠席者（懇話会委員）：

北区民生委員・児童委員協議会 会長	酒井 こず江 氏
さいたま市PTA協議会北区連合会 会長	渡邊 哲也 氏

議題及び公開又は非公開：（議題） 北区の将来像改定素案たたき台について
（公開又は非公開の別） 公開

傍聴者の数：0人

審議した内容：議題に同じ

問合せ先：北区役所 区民生活部 総務課 電話番号 048-669-6013

1 開会

2 意見交換

北区の将来像改定素案たたき台について

各委員より、上記議題について、次のとおり意見及び感想を述べた。

- ・警察も移転した関係で安全面を一番心配している。
地区の課題として、盆栽を PR していくことが必要と考えている。PR をすることで文化のまちとして進めていく必要があると考えている。
- ・交通のマナーの悪さを感じる。高齢者が今後多くなる中で課題になるだろうと考えられ、自治会や行政等の関係機関の協力の下進めていく必要がある。
まちづくりのなかで、盆栽の PR にあたり、来た人に楽しいと思われるものを作っていく必要がある。将来像の中で「市民参加で日々創造」の意味が漠然としてよく分からない。
- ・通学路の安全の問題を考えると、児童が通る道幅を広くするようにお願いしたい。
渋滞が多い地域があり、改善をお願いしたい。
- ・資料はよくまとまっているが、総花的で何がメインなのか分かりにくい。欠けている点としては、挨拶等のソフト面の内容が無いのが残念だ。計画をいかに実行していくかが重要である。
- ・「日々創造」がもう少し具体的になると良い。まちづくりのポイント2の(2)で、東西交通、といった東西の道路を整備するというを明確に書くほうが分かりやすいのではないか。まちづくりのポイント3の(4)で、世代間交流も入れた方が分かりやすいのでは。写真について、各世代が区民祭りを楽しんでいる様子が分かればと思う。保育園という言葉が無いが、これから子育てをしながら働ける環境を整備する、という内容が盛り込まれば良いと思う。
- ・大宮警察がなくなり、たたき台の文言に分署の設置に係る内容を、例えばまちづくりのポイント1の(1)などに盛り込んでいただきたい。
- ・盆栽事業者の後継者が少なくなっており、盆栽町で緑を維持していくことは難しくなっている。盆栽を世界に広めていくことが大切であり、小学生や外国人に伝える取組みをしているが、技術を持つ人があってのことであり、小さい頃から盆栽に触れ北区に盆栽があることを認識してもらっているが、できれば小学校で学んでもらえればと思っている。税金の面も

考えていただきながら、行政の力を借りて、さいたま市の盆栽が存続するように取り組んでいただきたい。

・盆栽が、北区の盆栽であることが忘れられている。イベントを創出する、人が集まるには商店街、企業が連携する団体を作っていくということを盛り込んでほしい。鉄道のまちということであるがニューシャトルにトイレが無く、計画のどこかに盛り込んでほしい。シャトルの運行状況を放送で伝えるような仕組みがあると良い。細かいテーマを掲げて魅力あるまちづくりを進めていく必要があると思った。

・東西の交通網が整備されていないと感じる。計画について、具体性に欠けるが今後具体的にになると考えられ期待している。

・将来像について、「私が」でなく「私たちが」ではないか。
まちづくりのポイント5の(2)の盆栽・漫画・鉄道は、盆栽美術館・漫画会館・鉄道博物館としてはどうか。

・防犯パトロールを実施しているが、H15年に発足時とメンバーが同じで、若い世代に広がっていないと感じる。子育て環境に関して、今後学童保育が必要になると考えている。生産緑地に係る制度が変わるため、今後環境の変化が予想され、行政が指導しないと荒地が増えてしまう可能性がある。北区の特徴を考えた時、正月では日進の餅つき踊りが常に出る。神社は地域のコミュニティに重要になっており、神社に対する考えを行政は変える必要がある。

・東西交流が進むよう、計画に書かなくてもインフラの整備を進めていただきたい。盆栽美術館について、盆栽公園の中の美術館というイメージでいると外国人の人たちにも良いのではないか。まちづくりのポイント1の(1)、(2)について、書き分けた趣旨が打ち出されると良いのでは。まちづくりのポイント2(1)について、住宅と自然環境は並びでないので、農地の次に「等」が入るべきでは。コミュニティという言葉について、まちづくりのポイント3(3)のコミュニティ同士の交流、の意味が分からない。まちづくりのポイント5(2)の鉄道は、ジャンルが違うのではないか。まちづくりのポイントで1番に「安全で安心して」とあるのは、アンケートの結果からなのか、現計画の踏襲なのか。アンケート結果ということであれば、それに基づいた順序建てを検討すべきではないか。将来像について、「協力」は弱く「連携」の方がより積極的な表現になるのでは。

・これからの10年間を考えると、内容がこれだけで良いのかと感じる。今後はジャンル別の部会ごとに計画を検討し、検討結果をこの場で議論するような仕組みを今後考える必要

がある。今後 IT、AI などの技術を駆使した働き方改革も検討すべきではないか。東西の流通経路を良くする必要がある。盆栽、漫画会館などは大事にして行く必要がある。防災無線の活用を検討すべきではないか。

市

・「創造」については、まちづくりは行政だけでなく、市民に参加していただきながら日々、毎日、良い北区を作っていく、という意味で使用している。シャトルのトイレについては計画があり間もなく取組みが始まる見込みである。防災無線については取り決めがあり、運行状況はお伝えできない。

・災害の内容が無いが別の形になるのか。

市

・まちづくりのポイント 1（1）で防災が含まれる。今回議論したのは基本計画のコンセプトに係る内容で、基本計画の下の実施計画で具体的な内容を述べることになる。

・「日々創造」について、馴染みやすく、希望が持てる文言にしていきたい。優しく皆に伝わる文言を考えていただければと思う。

・行政から委嘱された役職が多くなり負担が多くなっている。行政は委嘱した人の負担が軽減するようなフォローアップをすることを施策の中で考えていただきたい。

3 閉会